

ベイタウンまち育て

幕張ベイタウン協議会ニュース 10号

発行責任者：幕張ベイタウン協議会／幕張ベイタウン自治会連合会

平成 23 年 2 月 26 日

1月30日(日)ベイタウンまち育てシンポジウム2011が幕張ベイタウンコアで開催されました。62名の参加者は、この冬一番かと思われるような寒さの中、千葉大学北原理雄さん、村木美貴さん、建築家曾根幸一さんと住民の方による熱いプログラムを楽しみました。

第一部 基調講演

◆世界の街づくりの流れに沿ったベイタウン

基調講演では、北原理雄さん(千葉大学大学院工学研究科教授)が、近代まちづくりの歴史をスライドで振り返りながら、魅力的な街路を持つベイタウンが世界の街づくりの先進であることをわかりやすく解説されました。

「日本、ヨーロッパともに近世まで街路が街を作ってきた。都市化が進む中で広い緑地を持つ大規模な団地がつけられたが、緑地や通路が「だれのものでもない空間」となって荒廃するケースが生じ、魅力ある街をつくるためには、「生き生きとした街には生き生きとした街路がある」(j・ジェイコブ)ことが再認識され、沿道型住宅地として街路に面し、中庭を持つベイタウンが計画された」

魅力的な街であるためには、景観法など特別なルールで街並み景観を守り育てることが大切であること、千葉駅周辺でのパラソルギャラリーによる街路を活かす事例等についてお話いただき、

- ・”沿道型住宅”が魅力ある街をつくる
 - ・街の魅力を守るには景観ルールが必要
 - ・街路を生かすと街が生きる
- と3つの提言をいただきました。

第二部 パネルディスカッション

第二部のパネルディスカッションは、北原さん、村木さん、曾根さんと神谷さん(パティオス9番街在住)がパネラー、コーディネーターを樺田さん(パティオス19番街在住)がつとめました。各パネラーからそれぞれ問題提起をおこなっていただきました。

◆もし都市デザインガイドラインがなかったら
神谷さんはデザインガイドラインのないプロムナードのCGを発表。幕張ベイタウンではガイドラインによって公共空間のデザイン、商店の看板の表示方法、建物の高さや通りに面した表情が整っていることを、スライドで説明しました。

ガイドラインがなければ、どんなに街の骨格や建物が優れていても、どこにでもある街並みになってしまう現実の姿が示され、この美しい景観を守り、街の価値を維持する役割は住民が担うしかなく、住民で景観法によるルールを決めることがあらためて提案されました。

ベイタウンまち育てシンポジウム二〇一
一
「ベイタウンの景観を活かそう」

〈現在の美浜プロムナード〉



都市デザインガイドラインを無視すると

- 石畳はアスファルトに
- ボードはガードレールに
- 看板やサインが自由に
- 建物の高さや街並みに統一感のないマンシヨン出現

〈変わり果てた美浜プロムナード〉



*都市計画の制限がほぼ同じ他の地域をCGで再現 (作成：神谷秀美さん)

◆住みやすさ・景観を維持するために

村木さんは、イギリスの街を紹介しながら、「街がキレイ」を守るためのルールがないと景観が変化しますが、キレイだけの街には人は一度しかこないの、人が住み、人が動く空間としての魅力を高めるためには、毎年街の状況を確認して次の人たちに価値を伝え続けることが大切だとの提案をいただきました。

◆ベイタウンの計画の歴史をたどる

曾根さんは、計画の当事者として、ベイタウンにガイドラインを作った意味を説明されました。

都市計画法上ではもっと高い建物を建てられるのが、戸数をコントロールすることで、街路、パブリックな空間のある街を作ろうとしてきた。「住宅で街をつくる」ために大切にしたい要素は、複合性・開放性・場所性であること。街全体が単調にならないよう「都市計画先導施設」を計画したことをご説明いただきました。

◆これからの進め方

会場から「いろんな人がまちに関心を持つような方法はあるのか」という質問がありました。北原先生からは、「まずはアクションを起こして、その参加者を増やす。さまざまな活動の団体からキーパーソンを見つけ、まち育ての輪を広げる。事業者も参加にメリットが感じられるような魅力ある街のマネジメントの場を育てる」とよいのではとのアドバイスをいただきました。

最後に、コーディネーターの樺田さんより、三十六景の選定で、街の景観に興味を持ってもらえるきっかけができたこと、呼びかけを続けて、ベイタウンをすてきな街にするために、みんなが力を出し、「まち育て」を行っていきけるのは、デザインされた街だからこそだと締めくくり、3時間のシンポジウムを終えました。

◆パネルディスカッション〈パネラー発言要旨〉

- ・日本の住宅団地は誰にでも住めるもの、誰にでも使えるものだが、ベイタウンはこういう住み方をして欲しいという提案型の住宅地。
- ・中庭で囲むことで、向きによっては日照の問題もあるが、「街」に住んでいるという意識がある。



パネルディスカッションの風景



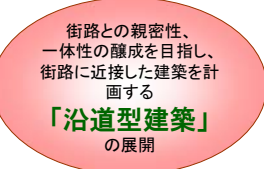
おなごのこころを育てる

- ・企業庁が閉庁するという大きな節目に来ている。住民が舵取りをすることでどこにでもない街になる。
- ・どういう街に育てていくのか、ルールを作るためにどういう街にしたいのかをみんなで合意していくことが大事。
- ・ベイタウンのよいところは、上に住んで下ににぎわいがあるところ。
- ・住む人たちが商店を使わないと賑わいが続かない。自分たちが欲しいものを呼んできて自分たちが消費するよう地域で話し合う仕組みがあるとよい。
- ・ハードの面での景観を守ることは実は簡単。ガイドラインを協定として守っていくことでできる。
- ・ソフトの面ではむずかしい。いろいろな活動をしている組織はたくさんあるので、同じ価値観や共通認識をもって、やれるようになるまでは時間がかかる。ボランティアでやるには限界がある。
- ・じっくり取り組むことと、企業庁閉庁にあわせて取り組むこと。タイムスケジュールを仕分ける。
- ・ベイタウンはハードの話から、ソフトの話になってきている。街が賑わうような工夫を考えてはどうか。

都市デザインの展開—賑わいを醸成する沿道型建築 III 都市デザイン

■都市デザインの展開の柱となる空間構成の目標

- 複合性**
地区内部に商業施設や小オフィスなどの要素を混在させることで、「住み」「働き」「学ぶ」が「複合した都市空間」を創出する
- 開放性**
住民や来街者が自由に往来する街路に対して積極的に建築に参加させることにより、「開かれた街」をつくりだす
- 場所性**
計画設計条件・体制を多様化することで、1つの街区や通りに多様な表情、きめ細かな場面を表出させ、「人々の記憶に残る場面」をより多くつくりだす



◆作業部会の開催
作業部会は毎月定例（原則：第2日曜 17時～）で開催しています。自由に参加可能です。積極的に告知を行います。広く住民の方々からのご参加をお待ちしています。
※開催日程の確認は自治会連合会ホームページをごらんいただくか下記へお問い合わせください。
自治連 HP:<http://www.baytown.ne.jp/>
メール: bt-machi@yahoo.com

第二回では、「十二」の景が選ばれました。

ベイタウンの優れた景観をみんなで選ぶ「ベイタウン三十六景」。昨年春に選定した「二十六景」に加えて第二回の募集と選定を行いました。

今回は優れた景観を作り出しているベイタウン内の街並み(道路に面した場所)を表現した写真やイラストを募集しました。募集中、写真家の早坂卓さんによる写真撮影講習会を開催。講習会に参加された方々からの応募もあり、17名から、延べ37作品が寄せられました。

1月16日には、審査委員として、早坂卓さん、協賛、ご後援いただいた団体より美浜区長小池よね子さん、打瀬中学校長裕茂樹さん、千葉市都市局技監森田道比呂さん、千葉県企業庁加瀬靖博さんと幕張ベイタウン自治会連合会会長遠山孝行さんの6名による審査委員会を開催しました。

早坂賞に選ばれた「メッセの夕景」



「海浜大通りからのぞむ幕張新都心の夜景の美しさをしっかりとした写真技術で見事に捉えました。」(早坂さん談)

今回は、新たに「九景」を選定するとともに、部門賞として「二景」、早坂さんが写真家として特別に選んだ早坂賞として「一景」の合計「十二景」が選ばれました。

今回は前回選ばれたスポットであっても、春夏秋冬季節によって、一日の朝昼晩それぞれの時間によって違った景観となっていると考えました。第一回、第二回の選定ですでに三十六景を越えましたが、これからもベイタウンのすばらしさを伝える風景・景観をみんなで増やしていくことを考えています。

●●ベイタウン三十六景(第1回選定)二十六景●●

1. ビル群を背景としたまちの景観
2. 美浜大橋から見るベイタウン
3. 夕景・夜景
4. マリンデッキから見るプロムナード
5. バレンタイン通り
6. 桜通り
7. セントラルパークのタワー
8. 店舗がある街並み
9. セントラルパークのケヤキ並木
10. 7, 8, 9, 10番街のオレンジの街路灯
11. 花見川緑地の桜
12. 海浜幕張公園芝生の『けもの道』
13. 海浜公園の花時計
14. 浜屋顔の丘
15. パティオス 11番街の中庭
16. まちに開かれた小中学校
17. ベイタウン夏祭り
18. 各番街のモニュメント
19. 打瀬第3公園のモザイク
20. ベイタウンコア
21. ベイタウンバス
22. 富士山(打瀬中からの眺望)
23. 夕日(ベイタウン越しの)
24. 夕暮れの富士山
25. 海に沈む太陽
26. 小鳥がいる風景

●●ベイタウン三十六景(第2回選定)十二景●●

[第二回選定]

- 2-1. 千葉ロッテマリーンズ優勝パレード
- 2-2. けやき並木と超高層住宅
- 2-3. 夕暮れ時ろまんていく街灯と木々
- 2-4. 今日は試合かな・子どもたちと街並み
- 2-5. マリンフォートから眺めるベイタウン
- 2-6. 幕張の夕日
- 2-7. ワア! 野外授業
- 2-8. 自然と人工のアート 一丁目公園
- 2-9. 秋のけやき並木

[早坂賞]

メッセの夜景

[部門賞]

- 1. パティオス 11番街・中庭
- 2. 新都心と緑 街路樹と新都心のホテル・ビル

2-3 夕暮れ時ろまんていく街灯と木々



第二回
ベイタウン
三十六景

部門賞-1 パティオス 11番街・中庭



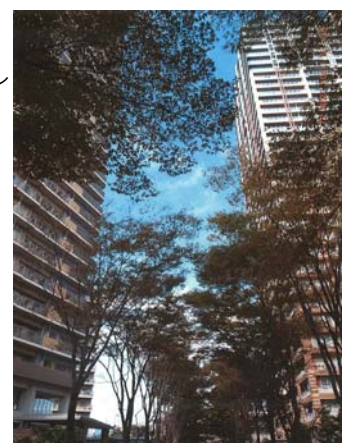
部門賞-2 新都心と緑



2-7 ワア! 野外授業



2-2 けやき並木と超高層住宅



ベイタウンは今、完成の時期を迎えています。今まで、ベイタウンを創り育ててきた千葉県企業庁は平成 24 年度には閉庁予定です。ベイタウンの街の質と資産価値を守るため何を引き継いだら良いのか、まずは、景観デザインガイドツアーに参加して、ベイタウンの良さを見つめ直してみませんか。

●第一回「プロムナードと中庭」

幕張ベイタウンが他の住宅地と大きく異なる特徴として、まず目につくのが、プロムナードと各番街の中庭です。なぜ、住宅地の中に商店街をつくったのか。なぜ中庭があるのか。住民と商店街とはどのような関係をつくってきたのでしょうか。

今回は、プロムナードと中庭を専門家のガイドによるベイタウン探訪を行って、幕張ベイタウンを計画した人達の思いと商店・住民の方の思いから「プロムナードと中庭」の意味を考えるきっかけとします。

普段はなかなか入る機会のない他の番街の中庭を見学できるチャンスでもありますので、興味のある方はぜひご参加ください。

開催日時	平成 23 年 3 月 21 日（月・祝）13:00～16:00
ツアー・コンダクター	神谷秀美さん（まち育てシンポジウム 2011 パネラー）
街並み・中庭説明者	曾根幸一さん（デザインガイドライン作成者・マスターデザイナー） 金丸宜弘さん（デザインガイドライン作成スタッフ）
募集人数	50 名（先着順 参加費は無料です）
申込先	メールにてお申し込みください。メールアドレス：bt-machi@yahoogroups.jp



住宅団地の再生で世界的な名声をはせるドイツのヘルマン・シュトレープ氏が、1月23日、建築家の奥さんと共にベイタウン視察にやってきた。



明治大学の招聘で日本を訪れているヘルマン・シュトレープ氏は、旧東ドイツのライネフェルデ住宅団地の再生の成功で、国連ハビタット賞などの賞を総なめし、一躍世界的な脚光を浴びている都市計画家、建築家、都市再生の事業推進者である。彼は、東京など日本の街を見て、その乱雑さ、計画性の無さに呆れ、その理由を講義のなかで問いかけたので、世界標準の計画性を持ったベイタウンを見てもらおうと都市プランナーでベイタウン在住の蓑原さんがベイタウンを案内した。

現地視察後、まち育て委員会の辻さんを交え蓑原宅で、さらに、自治連遠山会長、千葉市技監の森田さんが加わり、「KAZU」に場所を移して意見交換をした。

○彼のライネフェルデ団地再生の意図は、ベイタウン計画の考え方と軌を一にしていることがわかった。住民参加を大事にする彼は、ベイタウン住民の街づくり活動を高く評価した。日本の街づくりについて、少し見方が変わったのではないかと自負している。（蓑原記）

○著名なご夫妻（奥さまも建築家）の気さくなお人柄に触れ、まちづくりのお話を聞く機会をいただきました。大変光栄です。自分が住んでいるベイタウンが日本のみならず、世界に認められることを誇らしく思いつつ、ドイツでも住民コンセンサスが大切で、苦勞されているということが印象的でした。（辻記）

○奥様がフランスのノルマンディー地方のご出身だと伺いましたが「息子はフランス語を話しません。『僕はドイツ人だもの』っていうのよ。」と屈託なくおっしゃったのが印象的でした。交流とは心の結びつきであり、人種の話ではないということを確認する場となりました。ベイタウンは今以上に開かれたまちとなったら素晴らしいなと思いつつ感謝。（森田記）

■ニュースや活動のお問い合わせ先

下記のアドレスまで、ご意見・ご感想などお気軽にどうぞ。

千葉県企業庁閉庁が近づきつつあります。今後、幕張ベイタウンの維持管理はどうなっていくのか等みなさんの疑問や幕張ベイタウン協議会への質問をお待ちしています。（下記メールアドレスへ）

今年度は自治会連合会が国土交通省所管の助成事業「長期優良住宅等推進環境整備事業」（建築・まちなみ部門）の選定を受け助成金をいただいで、街並み景観の形成や保全を中心に活動しています。

bt-machi@yahoogroups.jp